



# さくらんぼだよ

9月号

平成29年9月1日

社会福祉法人 北杜福祉会 西多賀チェリー保育園

## 繋がろう！楽しもう！ のはらまつり

毎日各地での最高気温のことが報じられていますが、ここ仙台は全く夏とは思えないような気温で、子どもたちも、プールに入ったのはほんの数回。もし天気が少しでも夏らしく回復したらプールを楽しませてあげたいと思っていますが、長期予報もそこまでの天気にはならないような…。畑の夏野菜たちも心なし元気がなくなってきて、おひさまの光が欲しいところです。それでも、子どもたちの元気な声が野菜たちにも届いているのか、トマトは鈴なりに実を生らせ、そして必死に赤く色づかせています。子どもたちは目ざとく見つけ収穫しては取れたてのおいしさを味わっています。子ども達は、プールに入れなくても、自然の環境がいっぱいの中で、トンボを追いかけたり、小川でザリガニつりを楽しんだり、ボール遊び、追いかっこ、縄跳びなど、それぞれが思い思いの遊びを楽しんでいます。

こうした全身を使った遊びが、もうすぐ行われる“のはらまつり”につながっていきます。

9月30日(土)はのはらまつりです。

「全身を使った運動遊びを通して、自分の身体をコントロールできるしなやかな身体づくり」を目標に、今は、運動遊びを保育士と共に楽しんでいる子どもたちです。

朝夕の吹く風からは、“秋”への移ろいを感じるこの頃ですが、“のはらまつり”にむけて、三神峯公園への散歩もいよいよ始まります。歩け、歩け、そして元気いっぱいのはらを駆け回れ……。

夏まつりに続き、“のはらまつり”に参加した誰もがパワー全開で楽しめるよう、そして、お互いに繋がりあって楽しめるよう、職員で色々意見を出し合い話し合っています。西多賀チェリー保育園らしさを醸し出せるよう“人や自然との触れあい”そして“一人ひとりとのつながり”を大事にした“のはらまつり”ができるよう、皆様のご協力よろしくお願い致します。



2017・9・1

<園長 中館 和子>



## お知らせ

### <世代間交流について>

～お月見クッキングがあります～



日 時 9月15日(金) 9:30～12:30  
場 所 はらぺこあおむし組(4歳児クラス)

今年の十五夜は、10月になっていきますが、園ではちょっと一足早くおじいちゃん、おばあちゃんをお招きして、はらぺこあおむし組の子ども達とお月見団子を作り、お月見会を楽しみます。みんなで、会食をしますので、是非、参加してください。詳細は、後日お知らせ致します。

### <富沢マルシェ参加>

9月24日(日)に行われる長町南商店街(三栄会)主催のお祭りにスイミー組の子ども達が参加し、“荒馬”を踊る予定です。職員も応援で参加の予定です。

場 所 富沢公園(仙台市体育館東側)  
出演予定時間 午前10:20

## おねがい

### <三神峯公園に行くよ～！！>

自然いっぱいの野原で遊ぶ季節になりました。三神峯公園までの散歩が多くなります。虫刺され、草まけなどの予防のためにも長袖、長ズボンの準備をお願いします。また、靴のサイズの確認をして足にあった靴を履くようにしてください。

## 行事予定

9月		行事
日	曜日	
5	火	発育測定
8	金	お話しのお広場実行委員会
15	金	お月見クッキング
20	水	誕生会
22	金	のはらまつり実行委員会
29	金	三神峯公園トイレ掃除
30	土	のはらまつり

10月		行事
日	曜日	
3	火	発育測定
13	金	親子遠足(3歳以上児)
17	火	誕生会
18	水	避難訓練
19	木	内科健診
20	金	のはらまつり実行委員会反省会
24	火	球根植え・芋煮会





梅雨明けとは名ばかり、毎日雨、雨、雨/////・・・もうウンザリですね。“のはらまつり”というのに散歩にも出られずにいますが、そこは西多賀チェリーの子どもたち。時折雨が止むと、それっ！とばかりに外に飛び出し、畑へ一目散・・・あっ！トウモロコシが・・・そうなんです。子どもたちが外に出られないでいた間に、何と、カラスなのかはたまたまハクビシンなのか、ものの見事に食い荒らされ無残な姿になっていました。向かい側の建物の屋根にちょうど止まっていたカラスの群れに向かって子どもたちの怒りが爆発！でもカラスは知らんふり・・・その後は何とか無事だったピーマン、ナスを手を抱えきれないほど収穫し、それぞれのクラスでみそ炒めにいただきました！インゲンも、全部収穫し終えたと思っていたら、なんと、葉っぱの影のほうに隠れるように実を生らせていて、子どもたちは大喜び。かごいっぱい摘み取り、給食室へと運んでいました。カボチャも見事に育ち、8個も収穫できました。何でもよく食べる子どもたちは、本当に元気いっぱい！現代は車社会となって歩いたり走りまわったりということが少なくなって体力が低下してきていると言われてはいますが、毎日広い園庭を走りまわったり、築山を登ったり、はたまたま登り棒に挑戦したりと、じっとしていることの方が少ない西多賀チェリーの子どもたちにとっては、まったく当てはまらないことのように思えます。それでも手をつないで歩く、となると、ちょっと苦手・・・散歩になると、友達と歩調を合わせて歩くのは難しく、ズリズリ足を引きずって歩いたり、友達に引っ張ってもらいながら歩く、という光景も見られます。こうした事を目にすると、日々走りまわって遊んでいてもやはり、“歩く”ことの大切さを感じてしまいます。日常の中で“手をつないで歩く”ということの経験がいかに乏しいか、日々の忙しさを考えると子どもと手をつないで歩くよりさっと車やベビーカー等に乗せた方が手間もかからず大人にとってはこの上もなく便利な事ですが、“歩育”という言葉さえ出てきている程、子どもと一緒に歩くことの大切さが言われてきている昨今です。親子で手をつないで、話をしながら歩く、時には道端に立ち止まって、草花に触れたり、石ころを拾ったり、大好きな車を見たり・・・きっと親子の絆がより深まるのではないかと思います。おとうさん、おかあさんの体力づくりもかねて、さあー！一緒に歩いてみましょう！



## 母と子の 絵本欄



「はやくおむかえこないかな」 出版社 福音館  
なとり ちづ さく おおとも やすお え

おかあさんのお迎えがおそくなったりうくん。お友達と楽しく遊んで待っているものの、一人帰り、二人帰り・・・。とうとうひとりぼっち。お迎えを待つ子どもの気持ちが伝わってくる絵本です。



「おつきさま こんばんは」 出版社 福音館 はやし あきこ さく

小さな子どもたちは、お月さまを不思議ないきもののように見つめ、時には、雲に隠れると大騒ぎ・・・。そんな子どもたちの思いの詰まった絵本です。

## 自分の心に呪文を・・・？

子育て中は家事、育児、そして仕事・・・毎日その繰り返しの中で、時間に追われ、いつしかおかあさんたちの心の中には余裕すらなくなっているのではないかと思います。

時折、朝の登園時、玄関から聞こえてくる保護者の方々の“ほら！はやくして！”“いつまで何してんの！”“タッチ？もうしたでしょ！”等々の大きな声・・・。私たち保育士は、常に子どもの気持ちを受け止めてくださいね、とは言っていますが、おかあさんたちの忙しさを思うと、正直、今は無理かな？と思うこともあります。

私自身も、様々なことがいくつも重なってくると、考え方がネガティブになってくる場合があります。そんな時には、朝、起きたとき、自分自身に呪文をかけるとポジティブになれることもある、と何かの雑誌で目にしたことがあり、その時その時の自分の状態に合わせて、「私の心には愛があふれている」とか、「今日はずっと笑顔でいよう！」など、こうありたいと思うことを一つだけ、まさに呪文をかけるようにブツブツ唱えることがあります。思うようにいかないことがあって“はあ～！”となっても、いやいや、“今日の私は〇〇なのだ！”と思いつき、それを口にすると、周りの笑いを誘い、穏やかに、心にも余裕が生まれます。ちょっと試してみてくださいませんか。子どもの気持ちもちよっと受け止められるようになるかもしれませんよ。

わらべうたであそぼう

♪うさぎ うさぎ♪

うさぎ うさぎ なにをみて はねる  
十五夜お月さまを 見て はねる

\*この後、「びよん びよん びよん」と続けて歌いながら跳んで遊びます。

